

インタビューレポート

中堅中小企業の危機管理とビジネスPC活用

震災以降、すべての企業にとって喫緊の課題となった節電や事業継続。ITを活用し、どのように対応すべきか、企業経営者やコンサルタント、ジャーナリストからのオピニオンを紹介する。

INTERVIEW

ITマネジメント講座 Vol.2

中堅中小企業の事業継続

人にやさしく危機に強い経営へ

事業継続は、中堅中小企業にとっても喫緊の経営課題だ。危機管理の専門家である日本マネジメント総合研究所理事長の戸村智憲氏は、中堅中小企業の事業継続対策に求められる3つの重要ポイントとして「ダメージコントロール」と「リカバリータイムの短縮」、そして「人にやさしく危機に強い経営への変革」を挙げる。それらの実現と、必要となるIT活用について戸村氏に話を聞いた。

日本マネジメント総合研究所 理事長 戸村 智憲 氏

早稲田大学卒業。米国MBA修了。国際連合にて内部監査業務専門官、戦略立案専門官リーダーなどを務めたあと、民間企業役員として監査統括、人事総務統括などを担当。現在、日本マネジメント総合研究所理事長として多くの企業に危機管理・防災対策、経営戦略・組織マネジメントなどを指導している。



■ 重要なデータの保全にはまず堅牢なITへの投資を

中堅中小企業の事業継続対策として、まず最も基本となるのが「ダメージコントロール」。災害発生時に被害を最小限に抑えることです。とりわけ、中堅中小企業でもはやりIT（情報技術）なしでは経営が立ち行かなくなっている今、日々活用している様々なデータを守り抜くことは極めて重要なテーマです。

とはいえ中堅中小企業では、ITの専任担当者が社内には存在しないケースが多い上、コスト面での制約もある。そのため、大企業のような高度なデータ保全対策はいきなり実践し難い。そこで真っ先に着手すべきなのが「頑丈で壊れにくいPC」を導入すること。これなら今すぐにも大きなコストをかけずに実行できます。

もちろん、外付けハードディスクなどにこまめにバックアップを取ることも大切。こうした基本的な対策を行った上で、将来的にはクラウドを活用したデータの分散保存も視野に入りたいですね。危機管理のためのクラウドにデータを保存しておけば、緊急時に、職場や自宅、避難先・復旧拠点などの安全な場所からシームレスにデータを活用でき、「災害対策のリアプフリー化」を実現できます。

■ 様々なサポート・サービスを保険として積極的に活用すべき

もう1つ重要なのが「リカバリータイムの短縮」。生じてしまった被害をいかに早く復旧するかです。前述のように中堅中小企業では専任担当者がいないことが多いため、災害復旧という過酷な業務を自社のみの人員・機材などで行うことは困難です。リカバリータイムの短縮がネックです。

ここは外部のサポートを積極的に活用すべきです。特に注目すべきはPCメーカーの提供するサポートサービスです。災害時にも迅速で的確な支援が受けられないと意味がない。メーカーのサポートについても事業継続にしっかりと対応してくれるものであることが求められます。サポートなどのオプションはコスト要因と考えられがちですが、むしろ適切なサポートが受けられず復旧が遅れることのほうが膨大なコスト増につながる。「いざという時の保険」と考え、賢く選択して積極的に活用すべきです。

また、リカバリータイムの短縮には、いざという時にさっと外部に持ち出して業務を再開できる軽量のノートPCを活用することも有効ですね。バッテリーが長時間駆動するものであれば、計画停電などの際にも安心です。

■ 日常業務で活用してこそ本当の事業継続対策になる

危機管理対策で特に注意しておくべき点は、災害が起きた時に何かいきなりやろうとしてもうまくいかないということ。普段の業務から社員が無理なく使えて、かつ災害時にも役立つ製品・ソリューションを日頃から活用することこそが、「人にやさしく危機に強い経営」へ変革していく上で欠かせません。

「意識しなくても普段やっていることがそのまま災害対策になっている」ことが、事業継続のあるべき姿です。

[トップに戻る](#)

ビジネスIT活用術

Vol.1

節電要請・計画停電を乗り切る一手を!

久米繊維工業株式会社
代表取締役社長
久米 信行 氏

Vol.2

事業継続対策の
第一歩は経営トップ
の決断から!早稲田大学 大学院 システム太平洋研究科
公共経営研究科 教授
小尾 敏夫 氏

ITマネジメント講座

Vol.1

情報機器の
低消費電力化を株式会社MM総研
所長
中島 洋氏

Vol.2

人にやさしく
危機に強い経営へ日本マネジメント総合研究所
理事長
戸村 智憲 氏
[まずはご相談下さい](#)

0120-912-523

平日 8:00~20:00
土曜 10:00~18:00 (日曜・祭日休み)
<http://www.dell.jp/0523>

「今まで大丈夫だったからこれからも大丈夫」という根拠のない自信が想定外のリスクを生み出します。まずは経営者の「心の脆弱性」を見直し、できることから身の丈にあった製品・ソリューションの導入を積極的に進めるべきでしょう。

デルの堅牢・高性能なPCとサポートを戸村氏が評価

デルの最新ビジネスPCは、デスクトップ「OptiPlex」、ノート「XPS」ともに、ビジネスに求められる高性能のみならず、高度な耐久性も併せ持つのが特長。しかも24時間365日対応の「デル・プロサポート」が標準で付属するなど、サポート体制も非常に充実している。戸村氏にインプレッションを聞いた。

中堅中小企業の事業継続においては、データの保全のため頑丈で壊れにくいPCを導入することを第1に考えるべきです。その意味でも堅牢（けんろう）性を備えたデルの「OptiPlex」「XPS」はいずれも強い味方となります。特にノートPCでは、画面が映らなくなると、内部のデータが生きていても何もできなくなる。衝撃に強く割れにくいゴリラガラスを液晶画面に採用した「XPS」はとても頼もしいですね。

また、「業務を止めない」という観点から見て、24時間365日サポートしてくれるのも高く評価できます。特に中堅中小企業では、災害時のみならず、普段の業務においても、PCにトラブルが発生したらただちに対応してもらえ、専門のIT要員を雇用するよりも圧倒的に費用対効果が高い。PC本体についても、サポートについても、まさに「日常業務で活用することが、そのまま事業継続対策になる」といえます。



戸村氏がおすすめるデルの事業継続ソリューション。24時間365日対応のデル・プロサポートが標準

メタルシャーシ採用の堅牢なデスクトップ 「OptiPlex 3010」

省電力の第3世代インテル® Core™ i5 プロセッサ搭載、さらにデルEnergy Smart設計で電力効率をアップ。メタルシャーシを採用した高い耐久性に加え、製品寿命を維持するための高加速寿命試験も実施。24時間365日対応のデル・プロサポート（3年間）が標準。

1.36kgの軽さと耐久性を両立 「XPS 13」

衝撃に強く割れにくいCorning® Gorilla® Glass液晶を搭載。アルミとカーボンファイバーのボディは軽量ながら高い耐久性を実現。デル・プロサポート（1年間）が標準で、落下による破損などをカバーするアクシデンタル・ダメージ・サービスもオプションで選べる。



OptiPlex 3010 本サイト掲載 特別パッケージ

- 第3世代インテル® Core™ i5-3450 プロセッサ
- Windows® 7 Professional 32ビット 正規版（日本語版）
- 2GBメモリ
- DVDスーパーマルチドライブ
- 250GB SATA/ハードドライブ（7200RPM）

8月6日(月)まで
の特別価格 **69,980円** (配送料・税込み)



XPS 13

- 第2世代インテル® Core™ i5-2467M プロセッサ
- Windows® 7 Home Premium 64ビット 正規版（日本語版）
- 4GBメモリ
- 128GB SSD
- 13.3インチ HD WLED 液晶ディスプレイ（1366×768）
- 最小重量 1.36kg

通常価格 **89,980円** (配送料・税込み)

戸村氏の おすすめコメント

デルは、米国の9.11テロの際、真っ先に様々なサポートを行なったPCメーカーとして知られています。東日本大震災発生時もただちに100台のPCを被災地に提供。事業継続のノウハウに長けたメーカーといえるでしょう。危機に引き寄せられてきたノウハウが、製品やソリューションにも充分反映されています。事業継続を真剣に考える中堅中小企業にとって、デルのソリューションは非常に賢い選択になるはずです。

まずは
ご相談下さい

0120-912-523

平日 / 8:00~20:00 土曜 / 10:00~18:00
(日曜・祝日休み)

<http://www.dell.jp/0523>

▲ ページトップへ



デル株式会社 神奈川県川崎市幸区堀川580番地 ソリッドスクエア東20F

The power to do more

●製品の購入には当社の販売条件が適用されます。●法人リース料の金額には配送料が含まれております。なお、製品価格52,500円未満、かつリース料月額2,100円未満となるリース契約のお取り扱いにはできませんのでご注意ください。●製品は、正式受注後、通常約10日~2週間ほどでお届けしております。（お選びになった製品、構成内容、正式受注手続きの時期により納期が前後することがございます。予めご了承ください。）●返品・交換は、納品日より10日以内にご連絡いただいた場合に限りお受けいたします。但し、他社製ソフトウェアおよび周辺機器、Dell | EMCブランド製品、Dell EqualLogicブランド製品、Dell Compellentブランド製品、PowerVault ML6000テープライブラリ、スベアパーツおよび消耗品の返品は受け付けておりません。●お客様の都合による返品の場合、返品時の配送料およびご入金時のお振込手数料はお客様のご負担とさせていただきます。●当社物流センター出荷後、お客様のご都合により配送先を変更される場合は、別途同額の配送料を申し受けます。

●お支払は、（1）お客様が製品をご購入される場合、現金振込またはクレジットカード決済からお選びいただけます。お客様と弊社との間で別途の合意なき限り、製品またはサービスの代金は、製品またはサービスがおお客様に引渡される前にお支払いいただきます。（2）デルリースをご利用のお客様については、月々のリース料はおお客様の銀行口座より引落されます。なお、初回のみ1・2回目のリース料と合計した金額を同時に頂戴いたします。製品は、リース契約成立後に生産手続きを開始いたします。●リースのご利用は法人および個人事業主に限らせていただきます。また、リースは途中解約できません。●法人リース料の金額は事前の予告なく変更される場合があります。●記載されている内容、外観（モニタ含む）および仕様は予告なく変更される場合があります。●他社製機器およびソフトウェアはデル標準保守サービスの対象外です。●Vostro、DELLロゴは、米国Dell Inc.の商標または登録商標です。●Dell およびDELL Streak は、米国Dell Inc.の商標または登録商標です。●Intel、インテル、Intel logo、Intel Inside、Intel Inside logo、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Core Inside、Intel vPro、vPro Inside、Celeron、Celeron Inside、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、Xeon、Xeon Inside、Ultrabook は、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation の商標です。●Microsoft、Windows、Windows 7、Windows Server、Hyper-v、Office logo、Outlook、Excel、PowerPoint は米国Microsoft Corporationの米国および/またはその他の国における登録商標です。●Corning Gorilla Glass は、Corning Incorporated の登録商標です。●その他の社名および製品名は各社の商標または登録商標です。本広告掲載商品のご購入は、従業員500人未満の法人のお客様以外はお断りさせて頂く場合がございます。





[サイトマップ](#) [ヘルプ](#) [お問い合わせ](#) [日経パソコン年間購読](#) [メールマガジン配信](#) [メールマガジンバックナンバー](#)



[著作権・リンクについて](#) [広告掲載について](#) [個人情報保護方針/ネットにおける情報収集/個人情報共同利用](#) [日経BP社からのお知らせ](#)

(C)2006-2012 Nikkei Business Publications,inc. All Rights Reserved.